

「伝統メディア」の機能不全

一朝日新聞の「吉田証言」と「吉田調書」を例に一

中田圭祐

要旨本文

現在、新聞の発行部数は減少の一途をたどり、この 20 年間で約 900 万部減少している。新聞の部数減少の原因をインターネットの発展に帰する議論が多い一方で、マスメディアの報道姿勢に対する現代社会の強い批判の根底にある組織的な原因は見落とされがちだ。本論文では、マスメディアを代表する全国紙新聞社の組織が機能不全に陥り、ジャーナリズムの機能を果たせなくなっているとの仮説に立ち、朝日新聞社を検討対象とした。合理的な組織体系としての官僚制に関する理論をもとに朝日新聞は健全な官僚制を構成する要件を満たせていなかったため、合理的な組織運営が欠如していたとの結論に達した。